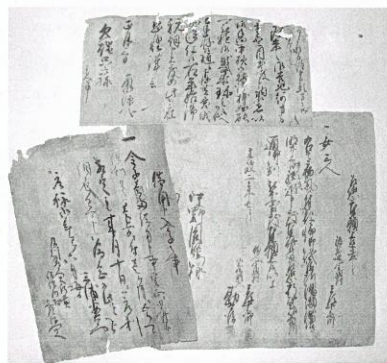


皆さんの家には江戸時代や明治時代の古文書はあるでしょうか？おそらく多くの人は「そこまで古いものはない」というでしょう。しかし、実はそのような古文書が今も家に眠っているかもしれませぬ。最近、2、3百年前の地域の歴史を秘めた古文書が家のあるところから多く見つかり、職員にとってまさに興奮と至福の瞬間です。

その場所とは「襖の中」、つまり「襖の下張り」です。現在では旧家やお寺などでしかお目にかかれない襖ですが、中は格子状の木組みの両面に和紙を張り重ね、さらに唐紙を張った構造で、軽く、防寒・防音性に優れた日本古来の家の間仕切り建具です。この張り重ねた和紙（下張り）に手紙・文書などで使用済みとなった和紙が使用され、これが最初に述べた

古文書の眠るタイムカプセル



襖の中からでてきた古文書

皆さんの家には江戸時代や明治時代の古文書はあるでしょうか？おそらく多くの人は「そこまで古いものはない」というでしょう。しかし、実はそのような古文書が今も家に眠っているかもしれませぬ。最近、2、3百年前の地域の歴史を秘めた古文書が家のあるところから多く見つかり、職員にとってまさに興奮と至福の瞬間です。

もし、家の建替えなどの際に、ご不用となった昭和初期以前の襖や屏風がございましたら、ぜひ二戸歴史民俗資料館にご提供ください。新たな歴史が分かるかもしれません。

古文書の正体です。当館では近年、市民の皆さんにご協力をいただき、数十枚の襖や屏風を収集することができました。職員にとってこれらの襖や屏風は当時の歴史を知る上で重要な手がかりであり、のどから手が出る「宝の襖」なのです。

張り重ねられた襖の下張りを一枚一枚剥ぎ取る作業は本当に根気、手間暇のかかる手仕事であり、ボランティアで協力してくださる皆さんに頭が下がります。この剥離技術の継承が現在大きな課題です。

現れた古文書には、なんと二百年前に書かれた相馬大作の叔父只六（多太）宛の年始挨拶状や、江戸時代から藍の産地だった金田一の二百年前に書かれた小売鑑札願五通などなど…。実はこういう味な作業の積み重ねが、地域の歴史の新しい断面を一つ一つ明らかにしていくきっかけとなります。

こみゅにたいむ

33期目

二戸市地域づくりリーダー研修会

今回の「地域づくりリーダー研修会」では、全国各地で地域づくりの活動や講演、研修会の講師をされているNPO法人せんだい・みやぎNPOセンターの加藤哲夫氏を講師に迎え、自分の地域のことを自分たちで考え、自分たちでやっていくことの大切さ、方法を学びます。

第2部では、今年度「まちづくり事業補助金」を使って、どのような地域活動をしたのか、各団体が活動経過と成果を発表します。

他の地域がどんな活動をしているのか知りたい、という町内会や常会、自治会の方は必見の、地域づくりのヒントがいっぱい詰まった研修会です。

日時 3月27日(土)

午後1時30分～4時20分

場所 シビックセンター ホール

◎基調講演

「地域づくりのコツと知恵(仮)」

講師 加藤哲夫氏

(特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事)

◎事業報告

・宝さがし報告 地域づくり推進課

・「まちづくり事業補助金」活用事業報告

今年度「まちづくり事業補助金」を使った地域活動の成果発表

入場料 無料・定員110人

どなたでも参加できます。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

【交付金のご請求をお忘れ無く】

平成21年度の町内会等活動支援交付金について、草刈りやコミュニティ活動など、申請している事業が終了しましたらすみやかに請求をしてください。請求書・実績書の様式は決定通知書と一緒に送付しております。請求の際には写真や領収書など内容が確認できるものをご用意ください。(確認後お返しします)

請求書を無くされた方は地域づくり推進課またはお近くのコミュニティセンター・地域担当職員にお知らせください。

例年、地域公民館等運営補助金を申請していて、今年度町内会等活動支援交付金の「コミュニティ活動交付金」「コミュニティ施設運営交付金」の交付申請をしていない地域公民館長は至急申請願います。

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線653)まで